



講演で特に印象深かった内容、その他

- ・MCSは大事と理解した。
- ・チームアプローチ、連携の重要性が再認識できました。
- ・MCSの話を初めて知りましたので、WEB研修を受けたいと思います。
- ・非常に新しい取り組みをされていることがわかりました。
- ・訪問薬剤師の仕事について、多職種と連携をしておかないと思わぬトラブルになりかねないため、重要性が理解できました。
- ・ネットワークの在り方について確認できた事が良かった。
- ・田中先生には利用者さんや家族だけでなく、訪看にもとても素晴らしい対応をしてもらっています。ありがとうございます。
- ・田中先生にはいつもお世話になっております。利用者さんに寄り添って、その方の立場になり、考えて下さり素晴らしいです。
- ・薬局、薬剤師の裏事情が理解できましたので、今後関わりやすくなったと思います。在宅ネットワークは、なんとなくしか知らなかったのですが、すごいと思いました。
- ・一つの例をもとに、一人の患者さんに対して色々な職種の方の連携により、在宅医療が成り立っているという事がよく理解できました。
- ・訪問薬剤師の役割。
- ・薬局の深いお話、大変興味深かったです。
- ・在宅で看取りを含めた療養生活を想像した時に、まだまだ不足している資源や意識の変革が必要だと感じています。ないものは作ればよいというパワーを感じましたし、実際、想いを形にできて少しずつ拡大できているところに感銘しました。無料配達、患者サイドに立って依頼することもありました。多くの観点を得ることができました。ありがとうございます。
- ・薬剤師の医療サービスをフル活用することで多職種負担の軽減、本人家族のQOLにつながる事がわかり、イメージが変わった。
- ・薬剤師在宅ネットワークについて。
- ・訪問薬剤師の役割について、よく理解できました。
- ・訪問薬剤師の実際が理解できたので、今後の連携に活かしていきたい。
- ・MCSの使用利点がわかりました。ありがとうございました。
- ・薬剤師の仕事内容。
- ・薬剤師の役割を今までなんとなくしかわからなかったが、しっかり理解できた。薬剤師在宅ネットワークというものを初めて知った。
- ・訪問薬剤師の在り方について、知らなかった事が多く、良い学びとなった。
- ・共通認識をもつことが大切で、その手段としてMCSが有効ということがよくわかりました。
- ・薬局業務の具体的内容が知れて良かった。薬剤師在宅ネットワークを知らなかったのですが、有効性や情報提供を行い、活用した方が良かったと思った。
- ・遠賀中間薬剤師会在宅ネットワークは良いシステムだと思いました。

### 講演で特に印象深かった内容、その他

- ・1人で24H365日のサポートすることは不可能だが、週末当番制を取り入れることでプライベートに支障なく、薬剤師としての任務を継続することができるネットワーク体制が素晴らしいと思う。
- ・24時間365日の在宅業務を行える薬局がすごく少ないこと。
- ・患者さんへの、よりそう説明が重要な事。チーム医療には、情報伝達が大事だという事。
- ・15ページの資料はとても役に立つ情報だった。訪問薬剤師さんの活用法がいまひとつ上手いかなかったのが、ヒントをもらいました。
- ・普段聞けないお話が聞けて、今後の参考にさせていただきたいと思います。
- ・薬局も温度差がある為、ケースに合った対応が出来る薬局を選択していくことの重要性。早い段階での訪問薬剤への依頼。
- ・薬剤師さんの仕事の深さを感じました。
- ・薬剤師の関わり的重要性を深く理解できました。良かったです。情報共有が、薬剤在宅ネットワークがよく分かりました。薬の管理のやり方にも色々ある事を理解しました。
- ・末期の方の場合、薬剤師さんが入っていただいていると、ケアに集中することができ、助かっています。残薬を確認する時間を、直接ケアできる時間に使うことができます。
- ・薬局での大変さを知りました。やはり、在宅医療では、なくてはならない存在だと思いました。
- ・薬の服薬について、本人の状態に合わせて、色々な方法があると知ることができたので良かった。
- ・在宅における薬(服薬)管理の難しさ。介護と同じ考え方でできることは本人にしてもらうという事は、どの職種でも言えることなんだと改めて認識することができました。とても聴きやすい講演でした。
- ・訪問薬剤師の仕事内容がよくわかりました(処方の提案等もできる等)。
- ・訪問薬剤師。
- ・薬剤師の田中先生の歯切れのよい講演に聞き入りました。同行訪問の機会があり(3年位前)、その時もとても解かり易く勉強になっていました。

### パネルディスカッションに関するご意見ご感想

- ・小西さんの連携に対する意見、同感です。CMとDrが連携しやすい関係が取れるようになると良いなと思います。
- ・利用者(患者)さんの事以外で、お話を聞く機会が少ないので、とても参考になりました。
- ・多職種の方の貴重な意見を聞いて、意識の目の向け方が変わりました。
- ・医療用の「麻薬」の考え方。ただ、薬の説明だけではない、「こだわりの強い方」への説明、実際に聞きたい。
- ・医療用麻薬の必要性、重要性の説明が大事なのだと思いました。
- ・多職種連携の大切さを改めて実感でき、これからの実務に意識して活かしていきたいと思った。
- ・連携の必要性を強く感じた。MCS活用が良い。
- ・多職種の話、意見、気持ちが聞け良かった。
- ・本当に多職種連携の必要性を改めて理解することができました。
- ・今日の患者さんを例に、どのように関わっているか、MCSの共有により、患者さんのその時の状態も分かり、必要性がよく分かりました。

### パネルディスカッションに関するご意見ご感想

- ・MCSの有効性。
- ・各職種の先生方の取組み方、多職種連携が重要なもの、MCSの重要性を知れました。THPIについて、初めて知ることができました。ありがとうございました。
- ・連携(顔のみえる関係)性、話しやすさや専門職的な知識の必要性を、何が必要な資源なのかアンテナをはっておくこと。看取りを視点に置いたところ、久しぶりに触れ身がひきしまる想いです。
- ・身近な先生や訪問薬局の意見を聞くことができた。
- ・信頼関係を築くことが大切だと、多職種での情報共有が大切と思いました。THP初めて知りました。
- ・同じような症例の関わりもあったので参考になりました。多職種で連携しながら受け入れ困難事例にも対応していきたい。
- ・同じ方向にチームが目を向ける事が大事。
- ・それぞれの職場での関わり方を知れて良かった。
- ・訪問するにあたり、Pt、Faとの関わりで注意する視点や気づきに対して、学びになった。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・多職種と関わる事が多く、主治医の先生や薬局の方との情報共有をより蜜にしていく必要性や情報を、ケアマネジャーや訪看等、自ら発信していく気持ちも大事だと感じた。
- ・多職種連携には、情報共有認識をもってやっていくことが大事だとわかりました。
- ・病気、麻薬に対する受け入れが難しい患者様に対応する場合、チームで情報共有し、その都度十分な説明と安心感を与える声かけなど、信頼関係を築くことで、納得して医療を受けることができるため、多職種連携は重要だと感じた。
- ・トータルヘルスプランナー(THP)を知ることが出来て良かったです。今後福岡でも認定がすすみ、CMや訪看が取得出来ると良いなと思いました。自分の所でもミーティングで伝えたいと思います。
- ・各職種からの訪問薬剤師に求めている役割を学べました。
- ・すごく貴重な時間でした。勉強になりました。
- ・共通の認識を持って、各職種がチームとして情報共有することの重要性を再認識できた。
- ・Drのお話を聞くことがないので、大変良かった。
- ・最期に向けて、家族と本人の受容困難にどのように向き合っているか、とても多職種の連携の情報共有の必要性、アプローチの難しさを理解できました。
- ・チーム医療を行ううえでの情報共有の重要性、患者さん、家族の方の在宅医療、麻薬使用についての理解をしてもらうための関係づくりがとても必要だと思いました。患者さんの気持ちを尊重しつつ、理解を得てもらうために関わっていくことが大切で、時間がかかるが、とても必要だと思いました。
- ・今回の研修は興味深く聴けた。グループワークでなく、自身の職種に関与ある他職種の実際などを聴ける事は良かった。医師の考え、薬剤師の考えも聴け、充実した研修だった。
- ・連携において、MCS利用が必要だと感じていますが、病院によって求められるMCSにあげる内容が異なり、困ることがあります。医師会でまとめて頂けると助かるなと思います。
- ・各立場の担当の目線からの意見や思いが、聞けて良かったです。どうしても医療が苦手のケアマネの立場からは、聞きにくい事もあります。MCSは蚊帳の外になってしまうケアマネも、チームの中に入れていけると感じます。遠賀郡の中では、まだ使っていない先生は多いと思います。ぜひ使って下さるといいです。

### パネルディスカッションに関するご意見ご感想

- ・それぞれの職種での考え方など困ったことなどがわかりました。MCSは有効なツールだと思いました。THPについて理解した。
- ・事例に対して各職種ごとに心掛けている点などがよくわかった。
- ・どのような仕事でも信頼関係というものが大切なのだと再認識できました。ターミナルの在宅医療は在宅医、薬局、訪看、訪介など様々な職種の連携が必要になるので、MCSは必要なネットワークだと思います。
- ・多職種連携する為のポイントがわかりやすかった。
- ・顔の見える連携、素晴らしい。
- ・それぞれの先生達の考えが、解かり易く理解出来ました。この地域で、介護職ですが少しでも利用者の尊厳に関われる事、うれしく思っています。

### 遠賀中間地域における在宅医療・介護連携についてのご意見

- ・いつも興味深い研修を、ありがとうございます。
- ・現場のリアルな事例が聞けて、大変参考になりました。
- ・「説明」「納得」「承認」「お金」。お金などの説明をしていく。実際のやり方、デモンストレーションを見たいです。
- ・介入が必要な患者さんと、必要でない患者さんの見極めをしっかりとしてほしい。
- ・日頃の業務から連携は心掛けてはいますが、「THP」大変興味があります。
- ・色々な症例事例を、また講演して頂きたいです。本日はありがとうございました。
- ・連携の大切さがよくわかりました。
- ・在宅支援センターが何をしてもらえるのか？と疑問点もあったが、今回、貴重な医療な情報をいただきまして、感謝しております。ありがとうございました。
- ・主治医の先生方と連携がもっととりやすい関係性を望んでいます。MCSで利用者の状態はすぐわかりやすいが、ケアマネとしてなかなか発信はしづらい(医療面が強いため)。
- ・MCSの必要性を感じました。
- ・勉強会を通じて、取り組みや連携の重要性を改めて感じ、事業所や関係機関にも情報共有をと思った。又、利用者様やご家族へも相談があった際の提案材料として活用したいと感じた。
- ・医師、薬剤師、看護師、ケアマネそれぞれの役割の中でチームとして、MCSの活用を含め、情報共有を行い、よりよい医療を提供していけるとよいと改めて感じた。
- ・訪問薬剤師として働きたい時に、どのように患者をまかせてもらえるかを知りたいです。医師へあいさつに行って営業すればいいのでしょうか？
- ・歯科ももっと地域の力になれるよう、努力します。
- ・とても勉強になりました。
- ・現在、施設への往診医との連携ツールとしてMCSを使っていて、本人の状態変化をすぐに伝えることができますし、写真などを送って病状の経過観察をDr、Nsが行ってくれるので安心してサービスすることができます。思い込みで治療していくのではなく、本人の話、施設職員の話、検査結果などを材料として二人三脚で治療していただければと思います。